

Special Feature

ジャズって何？

本誌の巻頭特集では、これまでジャズをほとんど聴かない人、ジャズを知らない人、ジャズにあまり興味が無い人の他幅広い音楽ファンにも興味を持ってもらおうと、あえてジャズに関する特集を避け、ジャズ以外の世界で活躍する著名人の方とのインタビュー記事などをお届けしてきたが、今回はあえてジャズの特集で直球勝負を挑んでみたい！

ジャズをほとんど聴かない人、ジャズを知らない人、ジャズにあまり興味が無い人たちが抱いているであろう素朴な疑問や質問をもとに、本誌の独断と偏見で60枚のジャズ・アルバムを選んでみた。

勿論、他にもこの場ではとても紹介しきれないほどの素晴らしい作品が数多く存在するが、どうか一枚でもいいです！ここで紹介した作品を手に取り耳にしてもらうことで、より多くの作品やジャズ・アーティストに出会うきっかけを作ってもらえたら最高です！どうかジャズに対するマイナスなイメージや否定的な先入観を捨てて、この特集に付き合ってください！

ジャズの巨人って誰？

ジャズの起源の中でも初期にあたるのが、1930年代から40年代初めにかけて大流行したビッグ・バンドによるスウィング・ジャズだが、ジャズの巨人として根つこの部分にあたるのが、自身のビッグ・バンドで名を馳せたカウント・ベイシーとデューク・エリントンだ。そして、共にベイシー楽団で名を馳せたジャズ・サクスの巨人＝レスター・ヤングとコールマン・ホークスの存在も忘れることはできない。



1939-40年録音

レスター・リーフス・イン
カウント・ベイシー
ソニーレコード：EICP-601



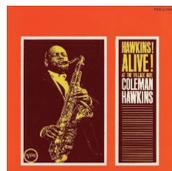
1939-42年録音

The Balinton-Webster Band
Duke Ellington
RCA：(Import)



1944年録音

ブルー・レスター
レスター・ヤング
コロムビアミュージック：COCB-53450



1962年録音

ジェリコの戦い
コールマン・ホークス
ユニバーサル・ミュージック：UCCU-5123

ビ・バップってどういうこと？

ビ・バップとは1940年代初期に生まれたジャズの一形態で、スウィング・ジャズにも不足を感じたジャズマンたちが、自由な即興演奏に重きを置くべく、夜毎閉店後のライヴ・ハウスに入り浸りジャム・セッションを繰り返しながら自身との格闘と試行錯誤の末に発展生まれたモダン・ジャズの起源にあたる音楽。その血と涙と汗と魂の結晶をここに挙げた4作品から感じて取って欲しい！



1941年録音

After Hours
Charlie Christian/Dizzy Gillespie
(Original Jazz Classics: OJC-1932)



1945-46年録音

グルーヴィン・ハイ
ディジー・ガレスピー
コロムビアミュージック：COCB-53446



1946-47年録音

チャーリー・パーカー・ストリート・オン・ダイヤル・Vol.1
チャーリー・パーカー
EMIミュージック：TOCJ-90051

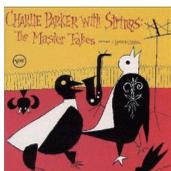


1953年録音

ジャズ・アット・マクセイ・ホール
チャーリー・パーカー
ユニバーサル・ミュージック：UCCO-9682

バード、モンク、マイルス、コルトレーンって誰？

バードとは“モダン・ジャズ/ビ・バップの父”と称され、数々の伝説を持つアルト・サクソ奏者チャーリー・パーカーのニックネーム。モンクとは独特なスタイルを持つジャズ・ピアニスト＝セロニアス・モンク。マイルスとは言わずと知れたジャズ・トランペッター＝マイルス・デイビス。コルトレーンとは巨人サクソ奏者＝ジョン・コルトレーンのこと。この4作品はそれぞれお薦めの代表作です！



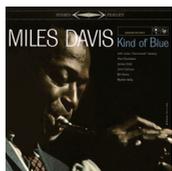
1950年録音

チャーリー・パーカー・ウイズ・ストリングス
チャーリー・パーカー
ユニバーサル・ミュージック：UCCV-9112
The Walker's 4



1958年録音

ミステリオーソ
セロニアス・モンク
ユニバーサル・ミュージック：UCCO-9667



1959年録音

カインド・オブ・ブルー
マイルス・デイビス
ソニーレコード：SICP-20001



1959年録音

ジャイアント・ステップス
ジョン・コルトレーン
ワーナー・ミュージック：WPCR-13418

モダン・ジャズって何？

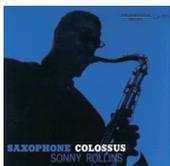
モダン・ジャズとは、1940年代に確立したビ・バップから1960年代後半にジャズにエレクトリックが導入される前辺りまでのジャズの総称。マイルス・デイビスのサウンドはモダン・ジャズ時代とエレクトリック導入後では大きく異なるが、この人の存在は大き過ぎる。通称“サキコロ”と称されるソニー・ロリンズの作品はモダン・ジャズの代表作で、『サムシン・エルス』収録の「枯葉」も最高だ！



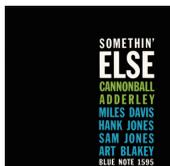
通称＝MIDCの傑作
洗練された音が魅力
1953-55年録音



マイルスの作品の中
でも人気抜群の一枚
1955-56年録音



超が付くほどの
モダン・ジャズの名盤
1956年録音



初めて聞いた時「ほ
「枯葉」に近き手ご
1958年録音

ジャンゴ
モダン・ジャズ・クワルテット
ユニバーサル・ミュージック・UCCO-9209

ラウンド・アバウト・ミッドナイト
マイルス・デイビス
ソニーレコード・SICP-20004

サキソフォン・コロサス
ソニー・ロリンズ
ユニバーサル・ミュージック・UCCO-9601

サムシン・エルス
キャンボール・アダレイ
EMIミュージック・TOJJ-6501

ファンキーなジャズってどういうこと？

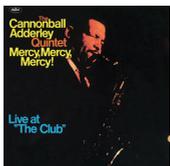
ファンキー・ジャズはハード・バップから派生したモダン・ジャズの解釈の一つで、1950年代後半から1960年代初頭に確立された。その中でもホレス・シルヴァーはファンキー・ジャズの代表的人物と称され、ホレスとは元々一緒に活動していたアート・ブレイキーとジャズ・メッセンジャーズによる『モーニン』は一世を風靡したファンキー・ジャズのバイブル！他の2作品もオススメ！



ジャズトだけでなく
ファンキーでも
1954-55年録音



顔がドアツ過ぎ
でもファンキーです
1958年録音



見た目は赤茶目な男
だが音はファンキー
1966年録音



伝説のライブ盤！
かなり売れました
1969年録音

ホレス・シルヴァー&ザ・ジャズ・メッセンジャーズ
ホレス・シルヴァー
EMIミュージック・TOCJ-7051

モーニン
アート・ブレイキー&ザ・ジャズ・メッセンジャーズ
EMIミュージック・TOJJ-6503

マーシー・マーシー・マーシー
キャンボール・アダレイ
EMIミュージック・TOCJ-90018

スミス・ルーヴメント
レス・マックヤン&エディ・ハリス
ワーナー・ミュージック・WPCR-25138

ジャズ・ヴォーカルってそんなにいいの？

一般的にジャズ・ヴォーカルというのを誰を思い浮かべるのだろうか…。ここに挙げた4組はジャズ・ヴォーカルの中でも間違いなく巨人と呼べる存在の人たちで、他にも素晴らしいヴォーカリストたちが存在するが、ジャズ初心者の方々にはまずは彼等の作品を耳にすることをオススメしたい。『ビリーとレスター』は恋人同士だったビリー・ホリデイとレスター・ヤング (ts) の共演を集めた名演集！



女性のジャズ歌手と
いっしょにこの人
1937-41年録音



二十世紀の代表歌手
俳優としても大活躍
1953-54年録音



オバマ大統領を彷彿
と人種を超えたスター
1956年録音



この笑顔もいっしょ
エラの歌声は永遠
1960年録音

ビリーとレスター〜ジャズストーリー〜
ビリー・ホリデイ&レスター・ヤング
ソニーレコード・SRCS-8905

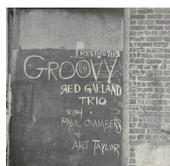
スウィング・イージー
フランク・シナトラ
EMIミュージック・TOCJ-6821

アフター・ミッドナイト
ナット・キング・コール
EMIミュージック・TOCJ-90017

マック・ザ・ナイフ〜エラ・フィン・ペルリン
エラ・フィッツジェラルド
ユニバーサル・ミュージック・UCGU-7035

ピアノ・トリオってそんなにいいの？

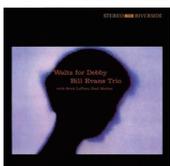
ジャズではビッグ・バンドをはじめ、クインテットやカルテットという編成をよく耳にするが、ピアノとベースとドラムによる編成を基本とするピアノ・トリオという言葉もよく耳にするだろう。これまでのジャズの歴史の中でたくさん的人气ピアノ・トリオが存在し、数多くの名盤を生み出しているが、ここに挙げた4枚はピアノ・トリオの醍醐味を味わえる作品としてジャズ初心者の方にも最適な超名盤だ！



「I Can Blues」
だけじゃなく聴いて
1956-57年録音



フルージーなピアノ
とケリー・節が魅力！
1959年録音



三位一体のアレイが
最高と臨場感爆棚
1961年録音



音の良さでも有名
一家に一枚の名盤
1964年録音

グルーヴィー
レッド・ガーランド
ユニバーサル・ミュージック・UCCO-9501

ケリー・フルー
ウイントン・ケリー
ユニバーサル・ミュージック・UCCO-9632

ワルツ・フォー・テビ
ビル・エヴァンス
ユニバーサル・ミュージック・UCCO-9551

フリース・リクエスト
オスカー・ピーターソン・トリオ
ユニバーサル・ミュージック・UCGU-7032
The Walker's 5

うるさくないジャズってないの？

ジャズって「うるさくてやかましい！」「激すぎる！」「何を演奏しているのかよくわからない！」などと拒絶反応をみせる人も少なくないのでは…？ 以下の4作品はそんな三重苦を感じさせない永遠の名盤！ どこまでもクールなチェット・ベイカー。その絶妙な間マイルスも惚れ込んだアーマッド・ジャマルの名作。哀愁を感じさせる『静かなるケニー』そして、ジャズ・ボサの傑作もあ薦め！



チェットの甘い歌とトランペットが一枚

1955年録音

チェット・ベイカー・シングス・アッド・ルイス
チェット・ベイカー
EMIミュージック・TOCJ-9302



アーマッドの独特の間と感情表現が見事！

1958年録音

バット・ノート・フォー・ミー
アーマッド・ジャマル
ユニバーサル・ミュージック・UCCU-5128



切ないくらいに哀愁が漂っています！

1959年録音

静かなるケニー
ケニー・ドーラム
ユニバーサル・ミュージック・UCCO-9681



名盤！ジャズ・ボサは本場に聴かれます！

1963年録音

ゲッツ / ジルベルト
スタン・ゲッツ & ジョアン・ジルベルト
ユニバーサル・ミュージック・UCCU-9680

ジャズ・ベースってどんなの？

一般的にはジャズ・ベース＝ウッドベースというイメージがあるのだろうか。本誌の『ベースマン列伝』というコーナーで毎号偉大なジャズ・ベースマンたちを特集しているが、以下の4作品は一度は聴いてもらいたい名職人的ジャズ・ベースマンの歴史的名盤だ！『リロイ・ウォークス！』は本誌由来の“The Walker”こと、リロイ・ヴィネガーの記念すべきファースト・リーダー・アルバム！



Walking Bassの響きへハッパ！

1957年録音

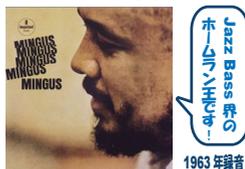
リロイ・ウォークス！
リロイ・ヴィネガー
ユニバーサル・ミュージック・UCCO-9793



Jazz Bassistのハイパワフル！

1957年録音

ベース・オン・トップ
ポール・チェンバース
EMIミュージック・TOCJ-90064



Jazz Bassistのホー・ハッパ！

1963年録音

5 (ファイヴ) ミングス
チャールズ・ミンガス
ユニバーサル・ミュージック・UCCI-9039



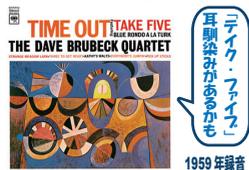
Electric Bassのハイパワフル！

1975-76年録音

ジャコ・パストリアスの肖像
ジャコ・パストリアス
ソニーレコード・EICP-20001

ビルボードにランクインしたジャズ・アルバムなんてあるの？

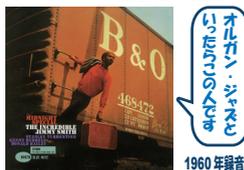
以下順に、ビルボードのアルバム・チャート最高25位を記録した『タイム・アウト』。アルバム・チャート最高28位(同名シングル・チャート69位)を記録した『ミッドナイト・スペシャル』。アルバム・チャートで最高25位(同名シングル・チャート最高81位)を記録した『ザ・サイドワインダー』。年間シングル・チャート18位を記録した「ジ・イン・クラウド」収録の同名アルバム『ジ・イン・クラウド』。



デイック・ファイブ！耳馴染みがあるかも

1959年録音

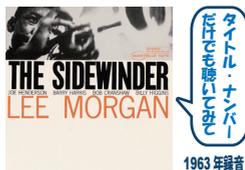
タイム・アウト
デイヴ・ブルーベック・カルテット
ソニーレコード・SICP-20014



オルガン・ジャズといたるところがよさそう

1960年録音

ミッドナイト・スペシャル
ジミー・スミス
EMIミュージック・TOCJ-7046



タイトル・ナンバーだけに聴いてみて

1963年録音

ザ・サイドワインダー
リー・モーガン
EMIミュージック・TOCJ-90063



ジャズとしては異例のビルボードに記録！

1965年録音

ジ・イン・クラウド
ラムゼイ・ルイス
ユニバーサル・ミュージック・UCCU-5045

インテリアに良さそうな渋くてカッコいいジャケットある？

ジャズにはそのサウンドだけでなく、ジャケット写真の渋さやカッコよさを楽しめるという魅力がある。中には「ちよつと…？」というジャケット写真もあるが、ここに挙げた4作品は部屋のインテリアとしても良さそうな渋いジャケット写真を誇る作品だ。勿論、サウンドも最高！できればCDではなくLPで入手して欲しい。『ザ・ベーシスト』はあのデヴィッド・ストーン・マーティンが手掛けたことでも有名！



この気だるさを感じてタバコの煙が洗い！

1955年録音

デクスター・ゴードン・ホット・アッド・クール
デクスター・ゴードン
Fresh Sound・FSR1601CD
The Walker's 6



文句の付けようがない程カッコいい！

1956年録音

ジェームス・ティーン・ストーリー
チェット・ベイカー
EMIミュージック・TOCJ-9317



この反り具合こそマイルスならではの！

1970年録音

ジャック・ジョンソン
マイルス・デイビス
ソニーレコード・SICP-838



ロニー・マーティンの作品はやはり最高！

1979年録音

ザ・ベーシスト
サム・ジョーンズ
M&I・MYCJ-30363

ジャズって結局古くさいだけじゃないの？

ジャズ＝昔の音楽、ノスタルジックな音楽というイメージを持つ人も多いだろう。50～60年代に最も進化を遂げ、巨人といわれる伝説のジャズマンたちのほとんどは既に亡くなっているのだから、そう思われても仕方のないこともかもしれない。だが、ジャズは着実に進化し続けている。ここに挙げた4人のジャズマンは90年代初頭にデビューし、現在もメインストリームで大活躍している男達だ！



1994年録音

ロイ・ザ・テナーズ・オブ・ア・タイム
ロイ・ハーグロヴ
ユニバーサル・ミュージック・UCCU-5311



1995年録音

スピリット・オブ・ザ・モーメント
ジョシュア・レッドマン
ワーナー・ミュージック・WPCR-291/2



1998年録音

ファミリー・アフェア
クリスチャン・マクスライド
ポッドール・POCJ-1415



2007年録音

シーズン・オブ・チェンジズ
フライアン・フレイド
ユニバーサル・ミュージック・UCCV-1106

ちやぶちやぶ
どうでも勝力です

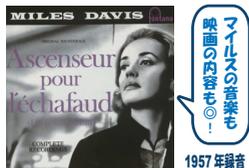
本誌のVol.1で
インタビューが実現

大のドラムフリーク
どうでも有名です

本誌のVol.1で
インタビューが実現

ジャズ関係の映画ってないの？

ジャズ関係の映画は意外に多いが、『死刑台のエレベーター』は映画の内容自体はジャズとは無関係だが、音楽はマイルス・デイビスが担当した名作。『ラウンド・ミッドナイト』は主演のデクスター・ゴードンの演技も素晴らしく、『バード』はクリント・イーストウッドが監督を務めたチャーリー・パーカーの自伝映画。『モ'ベター・ブルース』はスパイク・リーが監督を務めたお薦めのジャズ映画だ。



1957年録音

死刑台のエレベーター
マイルス・デイビス
ユニバーサル・ミュージック・UCCU-5012



1986年録音

ラウンド・ミッドナイト [オリジナル・サウンドトラック]
デクスター・ゴードン
ソニーレコード・SICP-5041



1988年録音

バード [オリジナル・サウンドトラック]
チャーリー・パーカー
ソニーレコード・SICP-5043



1990年録音

モ'ベター・ブルース [オリジナル・サウンドトラック]
Various Artists
ソニーレコード・CSCS-5358

映画の内容でも
マイルスの音楽も

主演のデクスターは
アカデミー賞候補に

映画の内容は賛否
両論でも好まれます

主演のテンセー、
ワシントンが洗い

ジャズでイケメンって誰なの？

ジャズでイケメンというと、やはり若い時の風貌におうところが大きいのが、クインシー・ジョーンズとマイルス・デイビス、“ジャズ界のジェームス・ディーン”と称されたチェット・ベイカーは外せないところだろう。クインシーとマイルスは女性を巡っての逸話も残されている。そして、現代ジャズのイケメンといえば、名優クリント・イーストウッドの息子でベーシストのカイル・イーストウッドを挙げたい。



1956年録音

私の考えるジャズ
クインシー・ジョーンズ
ユニバーサル・ミュージック・UCCU-9569



1958年録音

マイルストーンズ
マイルス・デイビス
ソニーレコード・SICP-20053



1958-59年録音

チェット
チェット・ベイカー
ユニバーサル・ミュージック・UCCO-9236



2004年録音

パリ・ブルー
カイル・イーストウッド
ビデオアーツ・VACM-1275

モテたぞぞぞ
モテたぞぞぞ

歴代の典さん達も
美人揃いでしたわ

この男がジャズ界の
ジェームス・ディーン

父親クリントにも
負けていません

親しみがあって分かりやすいジャズってないの？

よく“ジャズ・スタンダード”などといわれるが、ジャズを聴かない、ジャズを知らない人々にとっては何がスタンダードなのかよく分からないところだろう。ここで取り上げた作品は、有名なキャラクターが主役を張ったTV番組で流れたある意味日本のスタンダードと呼べるような馴染みの深いテーマ曲などが見事なジャズに仕上げられている。こういった作品からジャズを聴いてみるのもいいかも！



1998年録音

ウルトラマン・ジャズ
布川俊樹プロジェクト
EMI ミュージック・TOCJ-66104



1999年録音

LUPIN THE THIRD JAZZ
大野雄二トリオ
パップ・VPCG-84680



2002年録音

巨人の星 JAZZ
Various Artists
徳間ジャパンコミュニケーションズ・MECA-2007



2002年録音

あしたのジョー JAZZ
Various Artists
徳間ジャパンコミュニケーションズ・MECA-2006

何故かジャズに合う
ちやぶちやぶ

既にシリーズ化した
人気のルパンジャズ

若い世代にも聴いて
欲しい見と欲しい!

「巨人の星」と並ぶ
永遠・感動の名作!